

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	CRUEL	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.480	△RG	0.060	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：CRUEL

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 インチ

番

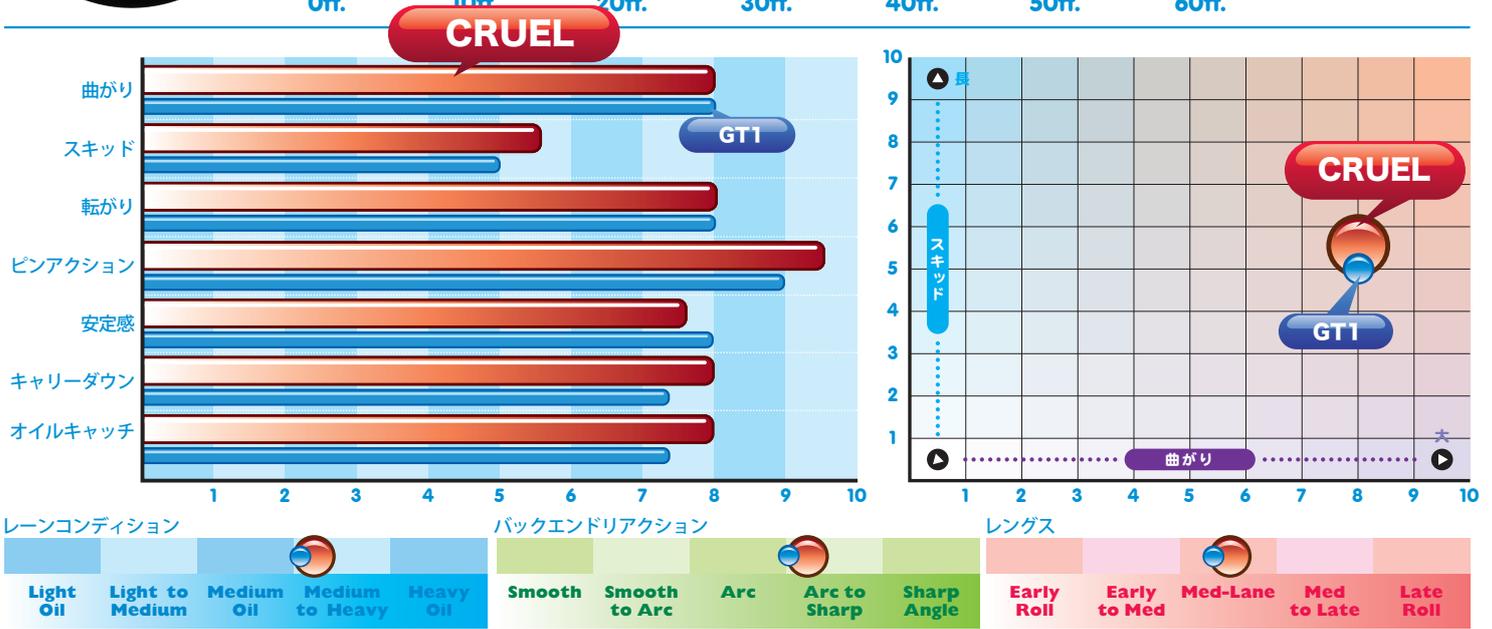
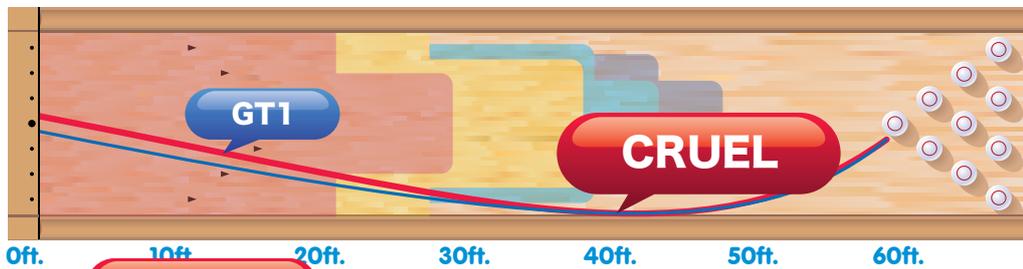
比較対照ボール：GT1

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 インチ

番



ボールの評価

MOTIV社初となるマスバイアスコアの導入と新しいフォーミュラー+新たなるケミカルの融合。新開発されたマスバイアスコア"cruel"コアは△RGはリミット限界の0.060。Int Diff 0.030というどちらの領域もほぼ最大値のコア設定です。

一新されたNEW材料は"Formula-5 Hybrid"と名付けられ、今までのMOTIV社のカバーストック中最もウエット感を伴う、吸い付くような粘りの強い素材です。コア・カバーストック双方が与えるリアクションイメージは、ミッドエリアにおいて抜群の安定感からピンヒットまで転がり続ける強いバックエンドモーションを実現させ、MOTIV社最強とも言える非常に柔らかい、低く重厚なピンアクションへと連動致します。私はこのボールテストの段階で明らかに今までのMOTIV社のボールと違うと感じたところか、ピンアクションが良いと評判のボールと同等の勝負ができる良さを感じました。

カタログで見られるようにMOTIV社の象徴でもある"Neoマーク"のロゴはワイルドに仕上げられており、CRUELはすべてにおいて一新されたMOTIV社の決意を感じて頂けるでしょう。

今回は箱出し#4000Wet Sandで発売されますが、先での動きを感じたいのであれば箱出しのまま。ミッドエリアでの動き出しを強調させたいのであれば、表面加工をアブラロンパッドで#2000もしくは#4000に仕上げることにより、よりハッキリと強い動きを感じて頂けるでしょう。表面加工はスピードと回転数、各々のポウラータイプによりチョイスしてください。

特記事項

MOTIV社初となるマスバイアスコア、新しいフォーミュラーとケミカル、一新されたNeoマーク。すべてが融合し新しいMOTIVの幕開けです。